

宜野湾港マリーナ・与那原マリーナ 利用者アンケート集計結果

沖縄県土木建築部港湾課

実施期間・調査方法等

- 実施期間：
令和7年6月19日～7月14日
- 対象者：
船舶を長期保管する利用者
宜野湾港474・与那原89・両方10 計573
- 調査の方法：
対象者の住所に案内を送付し、インターネットにて回答
- 回答数：
宜野湾港102・与那原12・両方1 計115件

宜野湾港マリーナ 利用者の皆さまへ
与那原マリーナ

マリーナの今後に関する アンケートへのご協力をお願いについて

◎ 沖縄県土木建築部港湾課

平素より本県マリーナをご利用いただき感謝申し上げます。

さく、6月上旬に開催しました説明会には多くのみなさまの御参加をいただき、誠にありがとうございました。わたくしどもでは、マリーナを運営する特別会計で収入が不足する現状を踏まえ、現在の利用者のみなさまの考えをもとに今後のマリーナのあり方を定め、さまざまな収入増加策を講じた上で、必要な使用料の改定を進めてまいりたいと考えております。

ついては、使用料の水準を含む今後のマリーナのあり方について、利用者の皆さまにアンケートを実施いたします。ぜひ多くの方のご回答をお願いいたします。

アンケート内容をもとにした、今後のマリーナのあり方及び使用料改定の案については、8月後半をめどに公表する予定としています。



アンケートの回答方法について

1 説明資料等をご確認ください

下記のアドレス又は右のQRコードのサイトに、説明会で使用した資料や当日の質疑応答が掲載されていますので、事前にご確認ください。

説明会ウェブサイト：
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/mach-zukuri/kovankuko/1013146/1022454/1034797.html>



2 アンケートサイトにアクセスしてください。

アンケートはインターネットで受け付けます。

下記のアドレス又はQRコードを使用してアクセスしてください。
パソコンでもスマートフォンでもアクセスできます。

※アドレス・QRコードは人ごとに異なりますので、他の利用者とは共有しないでください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-okinawa-w/offer/offerList_detail?tempString=3qfvJM1ZPK



←アンケート回答用QRコード

続きは裏面へ



25449

郵送したアンケートの御案内

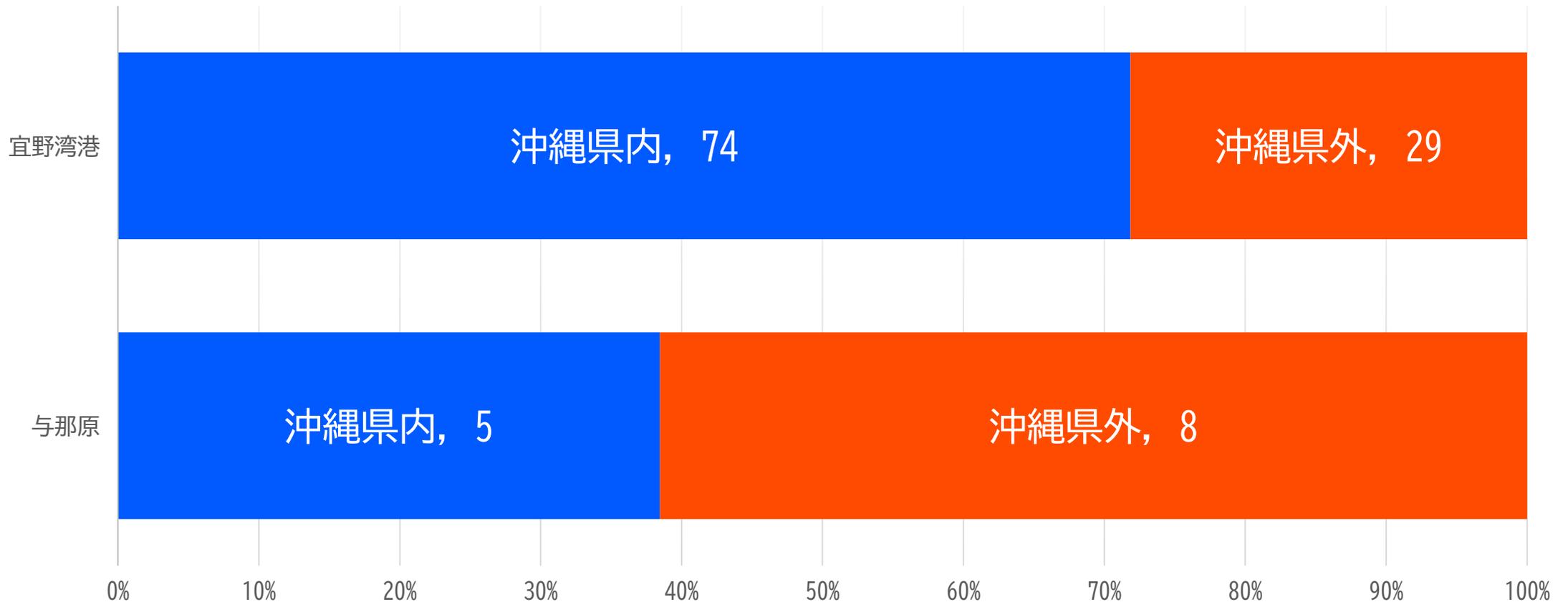
回答者属性

宜野湾港マリーナ

- 沖縄県内 74(71.8%)
- 沖縄県外 29(28.2%)

与那原マリーナ

- 沖縄県内 5(38.5%)
- 沖縄県外 8(61.5%)

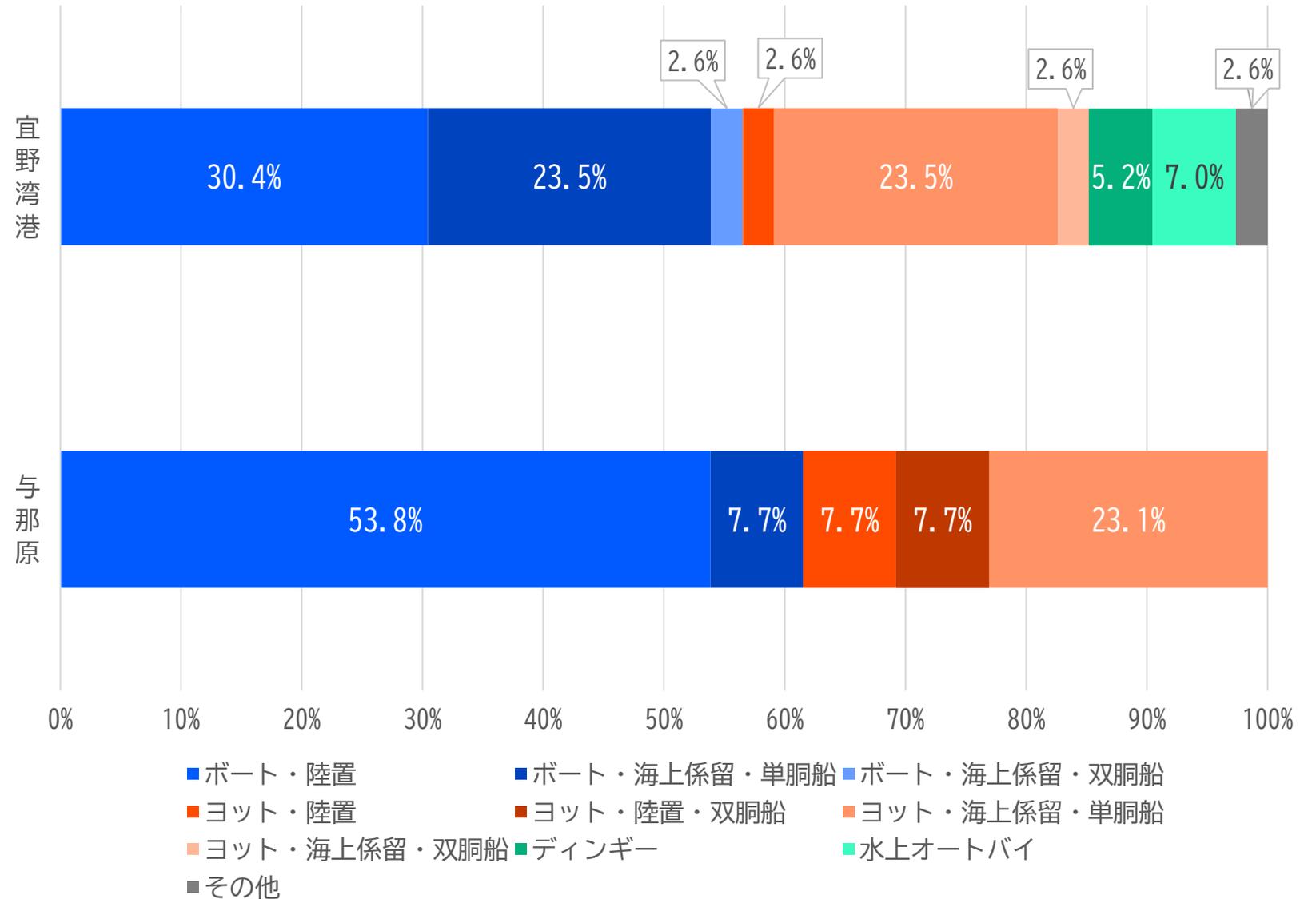


使用する船舶

船舶の種類	回答
ボート・陸置	35
ボート・海上係留・単胴船	27
ボート・海上係留・双胴船	3
ヨット・陸置	3
ヨット・海上係留・単胴船	27
ヨット・海上係留・双胴船	3
ディンギー	6
水上オートバイ	8
その他	3

その他……サバニ、サバニ・陸置、フォーカキサバニ

船舶の種類	回答
ボート・陸置・単胴船	7
ボート・海上係留・単胴船	1
ヨット・陸置・単胴船	1
ヨット・陸置・双胴船	1
ヨット・海上係留・単胴船	3



年間使用日数・利用期間

年間使用日数	宜野湾港	与那原
0～5日	6	4
6～10日	9	3
11日～50日	54	6
51日以上	34	0

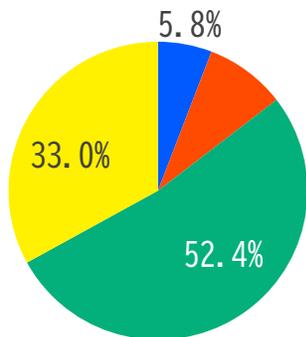
宜野湾港マリーナ

利用開始時期	回答
2023年以降	14
2015年～2022年	45
2006年～2014年	27
2005年以前	17

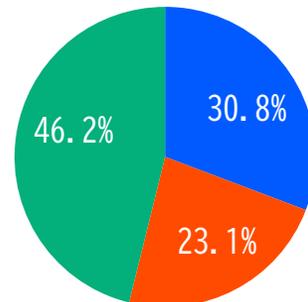
与那原マリーナ

利用開始時期	回答
2024年以降	2
2019年～2023年	9
2018年以前	2

宜野湾港

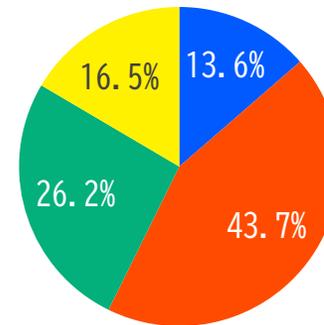


与那原



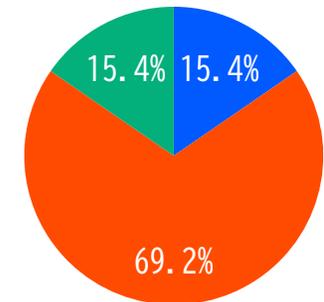
■ 0～5日 ■ 6～10日
■ 11日～50日 ■ 51日以上

宜野湾港



■ 2023年以降 ■ 2015年～2022年
■ 2006年～2014年 ■ 2005年以前

与那原

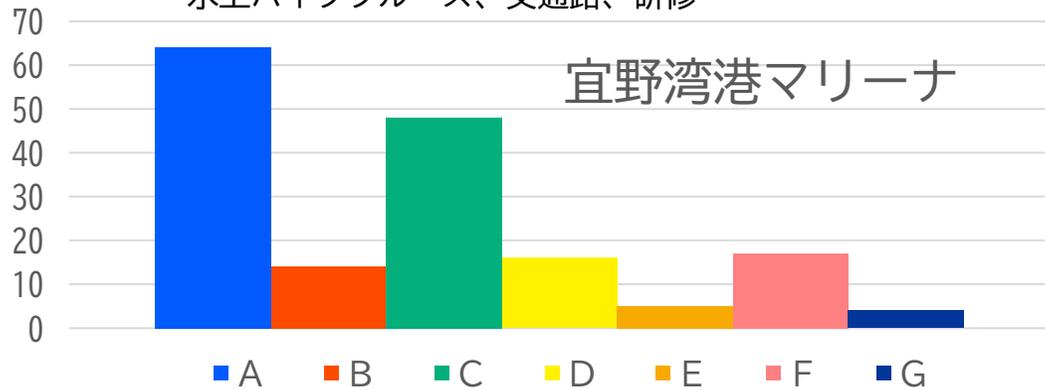


■ 2024年以降 ■ 2019年～2023年
■ 2018年以前

利用目的・利用者

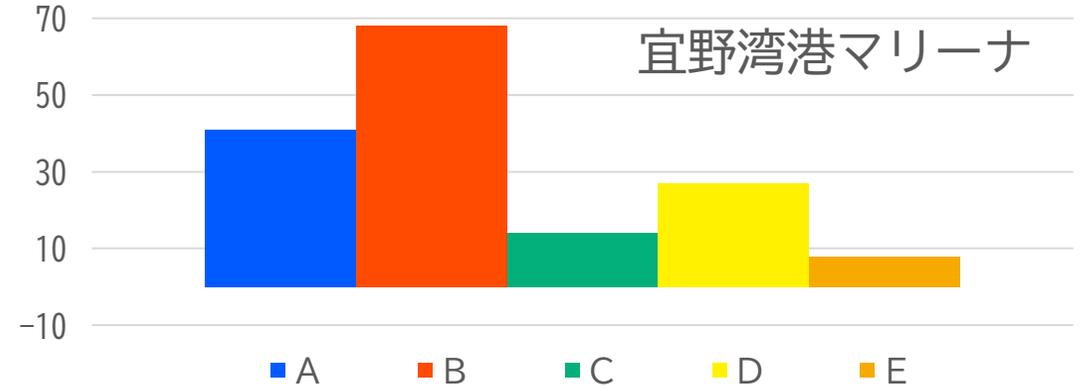
利用目的（複数回答）	宜野湾港	与那原
A クルージング/セーリング	64	10
B ヨットレース	14	1
C 海釣り	48	5
D ダイビング	16	0
E パラセーリングその他のアクティビティ	5	0
F スポーツ	17	0
G その他	4	2

その他……サバニレース、帆掛けサバニの練習、ボートライフ、水上バイククルーズ、交通路、研修



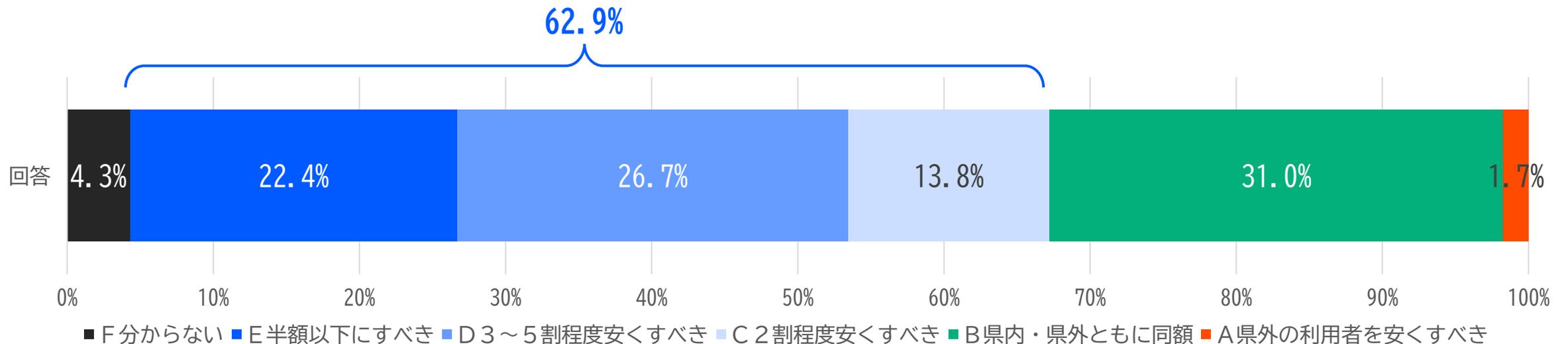
利用者（複数回答）	宜野湾港	与那原
A クルー	41	6
B 仲間たち	68	9
C アクティビティを利用するお客様	14	0
D 自分一人だけ	27	3
E その他	8	1

その他……家族、職場、会社のお客様、係留としてのみ利用、職場従業員



県内外の使用料の設定

選択肢	回答	県内在住	県外在住
■ A 県外の利用者を安くすべき	2	1	1
■ B 県内・県外ともに同額	36	4	32
■ C 2割程度安くすべき	16	14	2
■ D 3～5割程度安くすべき	31	30	1
■ E 半額以下にすべき	26	26	0
■ F 分からない	5	4	1

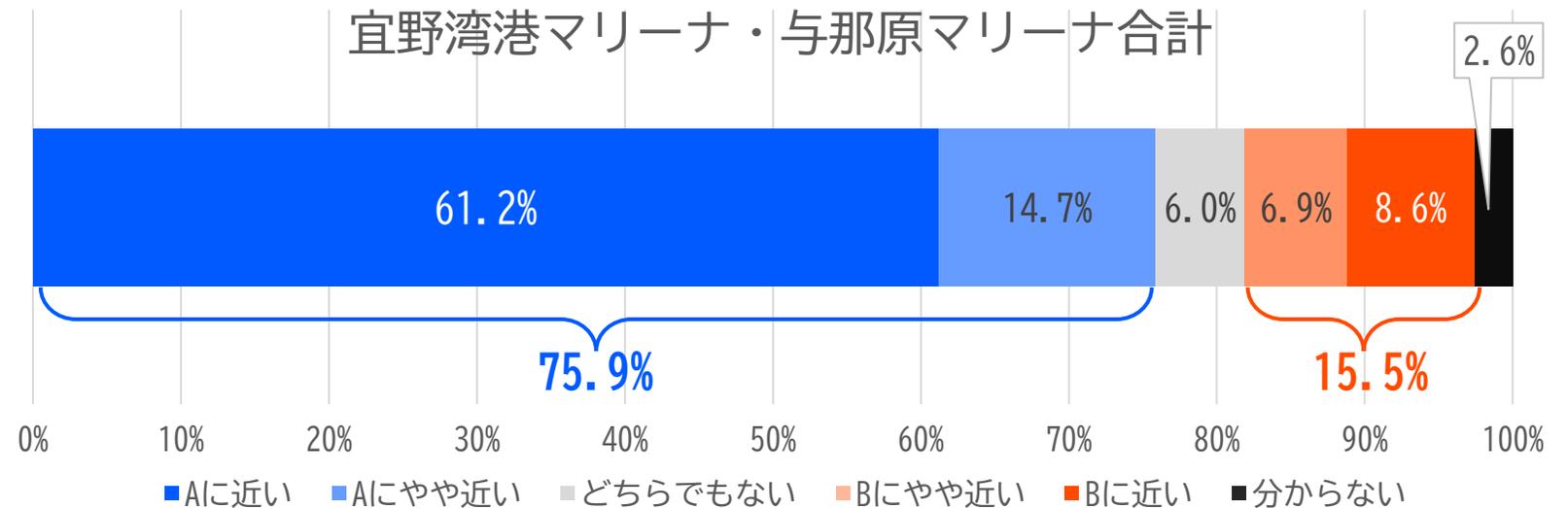


使用料水準

A：見直しを最低限の上昇に押さえた上で、マリーナ施設を最低限度で維持していく

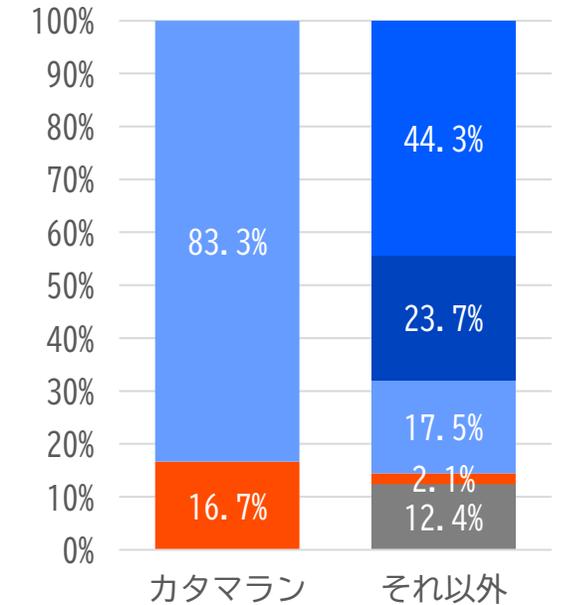
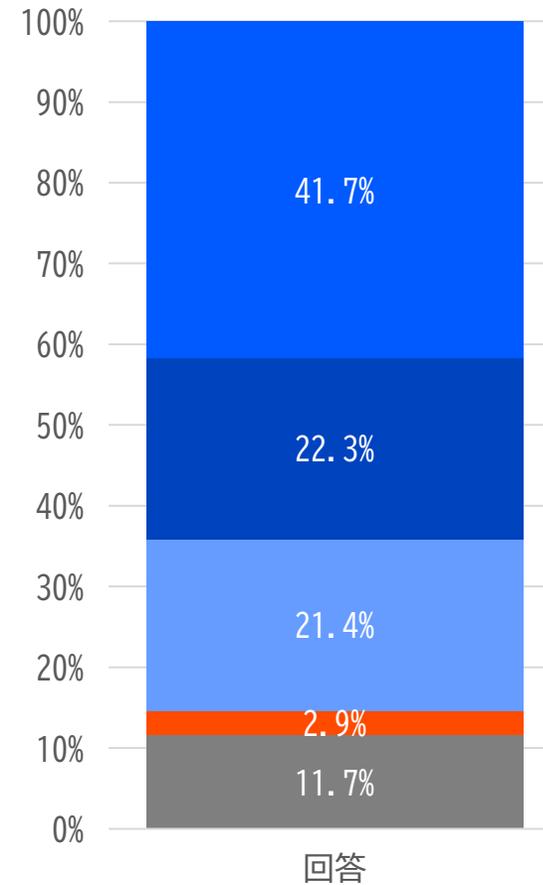
B：使用料水準を更に上昇させる代わりに、マリーナに新たな施設を作ったりして利便性を向上させていく

考え方	回答
■ Aに近い	71
■ Aにやや近い	17
■ どちらでもない	7
■ Bにやや近い	8
■ Bに近い	10
■ 分からない	3



カタマランの使用料の設定（宜野湾港）

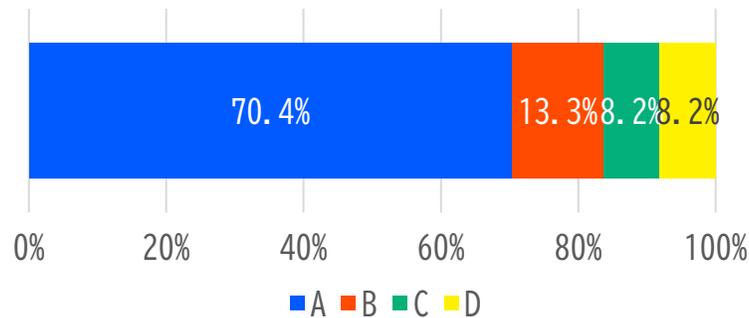
選択肢	回答	カタマラン	それ以外
Aモノハル2艇分にすべき	43	0	43
B2倍にするが、段階的	23	0	23
C使用料を高くすべきだが、2倍にしない	22	5	17
Dこれまでどおり同じ額	3	1	2
E分からない	12	0	12



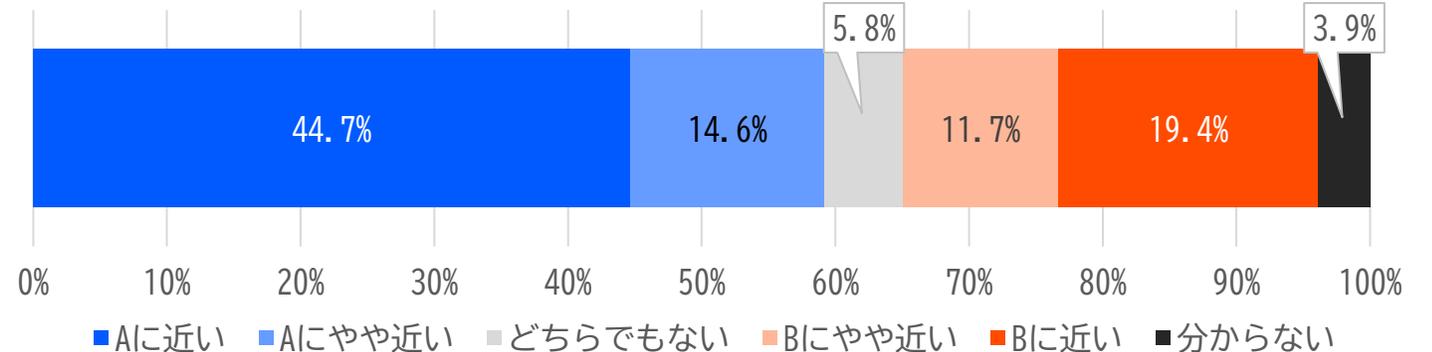
- A 2倍
- B 段階的
- C 2倍にしない
- D これまでどおり
- E 分からない

給水・給電使用料（宜野湾港）

考え方	回答
A 使用したことがあり、 払う必要があることを知っていた。	69
B 使用したことがあるが、 払う必要があることは知らなかった。	18
C 使用したことはないが、 払う必要があることを知っていた。	8
D 使用したことがなく、 払う必要があることは知らなかった。	8



考え方	回答
Aに近い	46
Aにやや近い	15
どちらでもない	6
Bにやや近い	12
Bに近い	20
分からない	4



A：使用の都度使用した分を払う

B：陸置場・海上係留と同時に
一定額を支払う代わりに
毎回の使用料は払わない

収入増加の方法(宜野湾港)①

- 遊覧船での遊覧航行で沖縄観光客誘致して売り上げを上げて利益を上げる。船舶利用後の船舶洗浄をして売り上げを上げる(下請けに丸投げでも利益は充分確保出来る)、また 出航前検査など安全運行が出来る整備や燃料給油を代行して出航者の負担を軽減すると共に利益を上げる工夫をする。これも下請けでも可能だ。船舶の補修をマリーナが行い補修費をで売り上げを上げる。船舶備品やバッテリー、船舶検査などをマリーナが請け負って請負賃を徴収する。バッテリー廃棄費用や安全備品廃棄及び販売で利益を上げる。飲み物の販売をして売り上げ増を上げる、現在の自動販売機ではなく これだけ大きなマリーナなので飲酒類の販売も手がける 新艇時にはシャンパンなどでお祝いするのが普通だ。 現在では病院や駅でも普通になったコンビニ店を一画に誘致して欲しい。
- 稀に小さい子が小さいヨットで港内にコース作って回ってますが、あれをもっと大規模で有料でやるのは面白いかもです。二馬力程度のボートでマリーナから出て左側の比較的波がおだやかな地域で子供たちに体験させたりも有りかと。また許可は居るでしょうけどドローン教室、ドローンレースなどはマリーナさんの広さがあると非常に楽しめると思います。船のラジコン、車のラジコン、ドローンそれぞれ遊べるのでそれぞれレースで競うとかも楽しそうです
- 当然一般入場者の駐車場料金の値上げ。駐車スペースの再利用(レストラン・スパ) プリンズホテルと提携して海洋レジャー収入を増やす。 沖縄県の観光収入財源からの補填。 独立採算を県が目指すならば色々な規制緩和して収入源の確保。
- 外来者駐車料金見直し 特に無料駐車場の有料化 ショップの誘致
- 整備ヤードの有料化 整備 放置艇の処分 対応 美化 整備 船台のマリーナ所有化
- 宜野湾マリーナの船の整備事業をマリーナに登録した業者のみとし、仕事の受注をマリーナのみの窓口にすると思います。 今、宜野湾マリーナ内は県の施設を無料で利用し、そこで事業をしている業者が船の整備業者、マリンアクティビティ業者ともかなりの数があります。 それらの窓口をマリーナで一括管理し、売上の何%かをマリーナに入るようにすればいいと思います。 マリンアクティビティ業者に限っては、受付をマリーナ内の駐車場等で行っており、きちんとした受付スペースもないなかで、観光客の相手をしています。 マリーナでアクティビティ業者の窓口をもうけるべきです。
- これまでの長期にわたる価格据え置きにも原因があると考え。物価上昇率などの合理的定期的値上げ制度の導入。 入居希望者は多いと聞いているので公共の施設である以上は置いてあるだけで使っていない船の退去、新たに入居する人からの更なる値上げ。
- 沖縄県の施設であり県民を優先的に設置目的に沿って指定管理者は制度を守り個人・事業者に対して公平・公正な管理をしてほしい。 施設利用に関して事業者(ダイビング・遊漁船・マリン事業等)と個人の利用目的を明確にし、利用応分に適した利用料を設定すべきだと強く思う。
- 県内外問わず、外国籍のオーナーからは、通常の数倍の利用料にする。そして、営業はさせない。言葉の問題、文化の問題で海上では、大きな問題となっている。 収益も上がり、安全性も上がる 広大な駐車場スペースを活用し定期的にイベントを開催する。例えば、県内のフードトラックが一堂に会する大規模な沖縄マルシェなどの食の祭典など。出店者からは出店料(売上の10%程度)、一般来場者からは駐車場使用料を徴収する。
- オーナーは今まで通りで外部からの駐車料金をもっとあげるべき！

収入増加の方法(宜野湾港)②

- 商業利用してる人を値上げし一般利用特に県内在住は利用料を下げるべき。 県の財政ということは県民の税金だ。飲食やカフェなど別収入をえたり、あらたなコンテンツを作り増収を目指すべき、施設として増益を行動せず、足りない予算を利用者から得る考えは乱暴すぎる。パラセールやダイビングなどレジャー業者からしっかり利用料をとり沖縄県に納税してない県外者を値上げする。一時バースのレジャー業者は別に行ってもらおう。
- 船を停める権利を高額で売買して儲けてきた人達から罰則金を徴収してそれにあてる！
- 現在の指定管理会社は入札で決まったと承知している。1年経過したら値上げを要求するので有れば、改めて入札をやり直すべきではないでしょうか？このアンケートを参考に、新規管理会社には事業計画のプレゼンテーションをさせて公開入札をすべき提案します。
- ポンツーン利用者は、なにかと、水やら、電力やら、つかいほうだい、なかには、クーラーを使い放題である。そこを突き詰めるべきだ。
- 陸置き、浮棧橋共に不良債権(未回収)等があれば早急に移動もしくは債権回収に取り掛かり継続不可であれば待機待ちに場所を提供出来るようにすれば650隻の収入があれば停泊料値上げも最小限で済むのではないかと思います 県が提出した収支報告書に明細がない為詳しい情報は知りませんが何年も動いてない船のオーナーが料金を納めているとは思えません 不良債権が多数あるように思えます
- マリーナのイベントがあれば、船を無料で提供する
- 順番待ちの人達にリース浮棧橋料を追加負担してでも契約したいか調査し、希望者の分だけリース浮棧橋にてバース増設。 過大な駐車場の一部を陸置きバースに用途変更する。 イベント会場としての料金を明示しPRする。(イベント会場を求めている人たちの目に留まるようなネット掲示など)などは昨年から似たような提案がされているが、実践されていない。収入アップの方法は沢山あると思うが、行政が既存の範囲内でしか考えていないことから、行政の考える常識の枠組みを排除する必要がある。「出来ない」「やらない」理由を考える前にまずは実践してもらいたい。これまで意見を聞いたりアンケートを取るだけで何も実践せず、理屈の切り返しばかりで何も動こうとしない行政の行うアンケートにどれだけの協力があるのか分からないが、挙がった提案には、「理屈の回答」ではなく「やってみた結果報告」をすれば、更なる提案が得られると思う。
- コンビニや、スターバックスなど商業施設を誘致して家賃収入をあげる。 陸上バースを増やして使用料収入を上げる。 駐車場料金はあげると一般の人は足が遠のくと思います。 施設使用料も年々少しずつ上げて行って、5年後に黒字化するような計画を立てる それに伴って、施設の整備や、ゴミの回収などルールを作って綺麗なマリーナにしていきたい
- マリン用品の物販の強化、キッチンカーにスペース提供はどうでしょうか。
- まず係留費の滞納があるか否かを公表してほしい。併せて滞納金額も。その上で宜野湾港マリーナとその周辺にもっと人を呼び込む工夫が必要である。 マリーナの風景を眺めながらスイーツ、カフェ、アルコールを食するスペースが必要である。 ショッピングもできる施設もあると良い。 駐車場スペースは残しつつ2、3階建ての営業建物運営会社を誘致する。横浜ベイサイドマリーナの小型版。(三井不動産などのアウトレットなど) 特にコンベンションセンターにくる客やプリンスホテルの宿泊者達のニーズが常にあるはずだ。 観光客と地元人もオシャレで集まりやすい店舗思想で。 隣接するサンエーは生活者のためのショッピングモールなので競合とはならない。その家賃収入を検討したい。
- 駐車場料金について、オーナーは現状のまま、外来者については500円くらいが良いのでは。 電気はメーターをつけるべき。エアコンをつけてる船がかなりある。時々見回りして使用のチェックをすること。

収入増加の方法(宜野湾港)③

- やはり船の受け入れをもっとして収益を上げた方がいいと思います
- シャボは15分刻みで上げ下げしてできるだけ多くの使用料を取る。 外部からの使用料を高く設定する。 観光客向けにオーナーが出来るアクティビティを宣伝広告し、依頼が来たらオーナーに発注してマージンを貰う。 あえて利用者の少ない冬の時期にバーベキューや、祭り等のイベントを開催する。
- 1. 駐車場使用はオーナーのみとして。それ以外は料金を徴収(無断使用が多い) 2. 駐車場でイベントを開き市民(フリーマーケット、コンサート等のイベント)に身近なマリナーになってもらい、使用料金の徴収。 3. 陸置艇や船台の整理で陸置き艇を増やす。 4, 有料バーベキューサイト 5, 観光客用にカフェ営業。グッズの販売(積極的な観光客誘致)
- 業者(マリンアクティビティ等)を運営してる所は運営費(売上のパーセント)やカタマランが停まっている周辺の空いている駐車場にも船を停められるようにする、もしくはイベント等で活用できるようにしていく。(キッチンカー等の運営)※その為の整備は多少必要。
- コンベンション側の駐車場がほとんど使われていないのであれば、陸置き場に変えても良いのでは? せっかくの好立地な土地だと思うので、空き地を利用した収入を増やす事が良いと思っております。
- 1. 駐車場について観光レジャー客が1日300円は安すぎ。たとえ1日500円でも安すぎ。マリナーオーナーと、一見客は区分すべき。 2. 管理棟向いの芝生エリアがもったいない。3階建てくらいにして一階部分は芝生を残し、2階3階を飲食店等の商業施設があるとよい。軽く食事したりコーヒャビールが飲める施設が望ましい。 3. レジャー業者さんからマリナーオーナーに対して、パラセイリングやクルージング、ダイビング等をマリナーオーナー割引でオフシーズンに安く(オフシーズンで半額とか)提供があるとよい。マリナー経由で申込みとし10%くらいのマージンがとれるのではと思う。
- 2-9での給電、給水の料金についてですが、特に給電30分毎に200円 クーラー除湿機 等を使用している船では、24時間 365日 差しっぱなしになっています。使用電力に関わらず 計算上では、年間 三百五十万四千元 法外です。メーターを付けて使用した分支払うのが 理にかなってると思われます。 先ずは垂れ流しになっている所を締める 取り逸れている所を取る。 支出の無駄を洗い出し本当に足りない部分を洗い出す
- 一般車両の駐車料金を時間制にしてほしい。 事業としてマリナーを使用する業者から使用徴収など
- 営業利用者の利便性を高め一般利用者より使用料を上げられるようにする
- 特別会計の区分わかりませんが宜野湾マリナーの特性から、ビジターの受け入れ増 海の駅として食堂や土産店 熱海のように市と連携し花火大会など観光誘致 音楽イベント など収入増=観光客誘致とする案を出させていただきます
- 駐車場利用料金は一般はもっと上げてもいいです。飲食店、マリングッズ店などの賃貸、ホテルマリナー組合による運営

収入増加の方法(宜野湾港)④

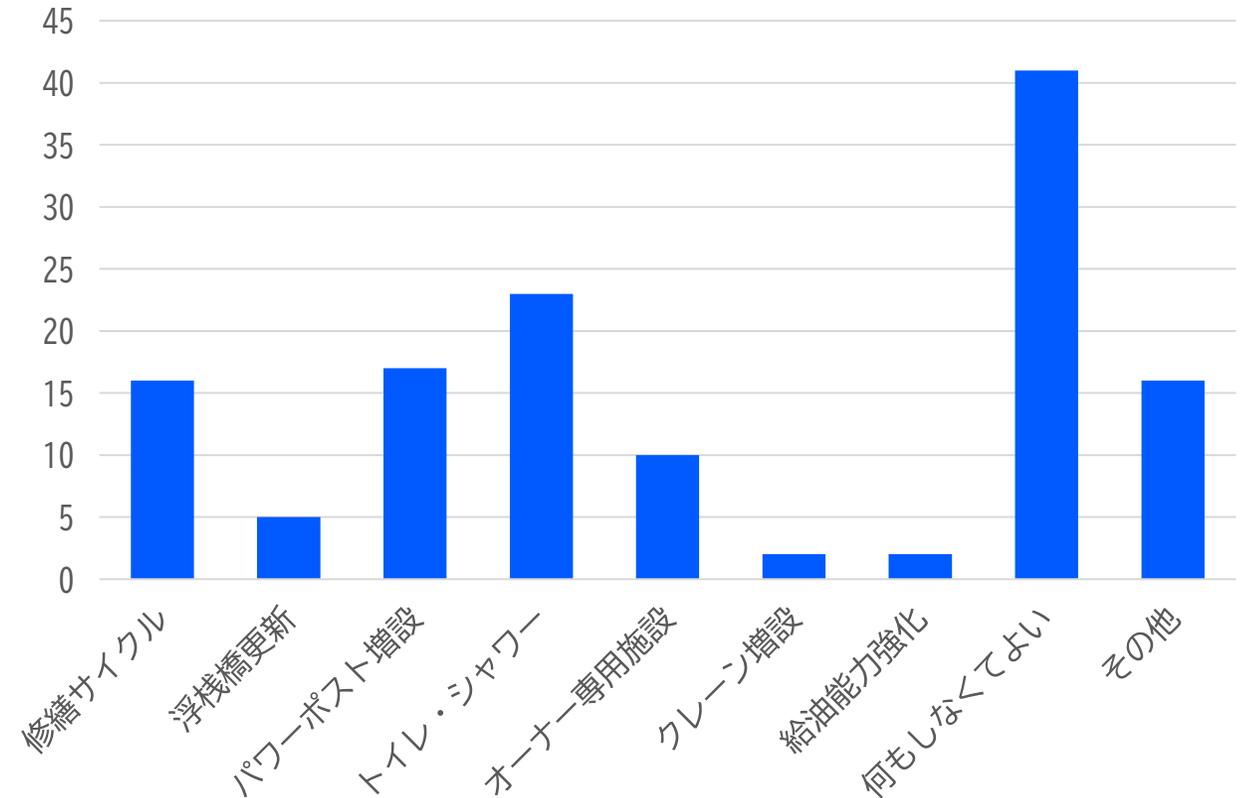
- ビジター、観光客の駐車場料金料金の増額
- 20年前の旧管理業者の時は、当マリナーは県民なら為や青少年の海洋育成の為の施設であるため営利目的の施設使用は禁止と聞いたように思いますが、現在は黙認？なのか！それなら、業者などから施設使用料を徴収したらどうでしょうか。当マリナーのロケーションは素晴らしい価値があります。地元の人が思う以上に価値があるのだから。昨今、二重価格が当たり前になりつつあります。
- 散策路や駐車場、広場で、イベントやフリマを定期的開催して、係留ユーザー以外の利用増を図り、伴いイベント開催料や駐車料増加につなげる 小型船舶講習会や免許講習を場内で開き開催料や駐車料増加 パラセールやダイビング、釣り船など、営業用途の船と、オーナー個人のプレジャー用の船の価格差がないのであれば、おかしい。 当然、営業用途船の価格の方が高くなるべき
- 6月上旬の説明会で提案があった、コンベンション側の駐車場スペースに新たに陸上バースを新設して利用者を増やせば収入が増えるのではないか。
- レジャーとして県外旅行者の駐車場料金の見直し、また、別途客収益を目的とした船舶の方々と趣味等での方かいます。 収益目的であれば、解約は考えられませんので、上乗せした徴収等で収支バランス安定を図る。 しかし、趣味等であれば解約による空床も懸念される。 また在住でも県内、県外で分けた考えによる、計画取り組みを望みます。 安易に船舶代金上乗せし、船舶者減少の方がハイリスクと考えます。ご検討お願い致します。
- 当初予定していた未施行の浮棧橋を整備して収容船舶を増やし収入増を計る。 マリナー内の営業船は営業権としてそれなりの費用を取るべき。
- いきなりの使用料アップは論外。先ずは下記等実施の上、再検討。(下記検討/収入増強) ・営業艇料金見直し 利用権は毎年入札更新、営業売上25%徴収 ・オーナー駐車料金 年間利用料は中止、 近隣相場基本の割引等に見直す。(ex. 200~500円/日) ・水電気ゴミ料金徴収 本来計量だが、ex. 100円/滞在日数 ・定期イベント開催、屋台出店料と売上部金徴収
- 駐車場を貸し出して収益化する、 土地自体を貸し出して収益化する 県ではなく民間の力をかりて一般会計からの繰入れを無くす努力をする。 利用料金を上げる前に左奥の無料で使っているフリーライダーからまずは利用料金を取る努力が必要、マリナー側は料金を取って 左奥側はただとは不公平極まりない、成り立ちや経緯は関係ない利用者負担である。
- マリナー内で営業を行なってる業者(マリンレジャー) 一般のオーナーと違い利益を生む方々からは別途追加 徴収すべき。
- コンベンションセンター側の駐車場がいつも空いている このスペースを陸置艇にする R側に5本目のポンツーンの計画を聞いたことがありますが、 海上置を増やす 艇の全長を水線長でなく実寸で計算する
- 管理者の人員削減し委託料を3割削減する
- 徴収漏れを全て回収
- ◎ビーチ側駐車場を陸置きバースに変更 ◎停泊使用料金未納の回収を外部に委託

収入増加の方法(宜野湾港)⑤

- 収入増加は宜野湾港マリーナの事業拡張、バースの増設、定期検査を継続していない船の排除が多く、既利用者も納得する収入増策と考える。 a 事業者の受け入れ緩和 事業目的を優先的に新規新利用料金で受け入れる為、浮棧橋を拡張、または、3年以上出港していない船は浮棧橋から移動しバースを空ける。 b 自主事業の拡大 マリンアクティビティを目的とする外来艇の利用を緩和し、客数による利用料金の収入を増やし自主事業の売上を伸ばす。 c 事業廃業の船 事業廃業船の売買がバース譲渡ができないルールが動かない船置き場となっているのではないかと。マリーナの自主事業に貢献する事を条件、事業者間の売買を緩和し自主事業売上を伸ばす。 d 定期検査を継続していない船の排除 定期検査シールが古い船がある。その様な船は臨検をとらないと港外に出れないのだから、どこか1箇所に移動し、空いた場所を新利用料金で利用させる。
- 赤字運営ということにもかかわらず営利目的でマリーナを利用している業者に別料金を設定することを頑なに拒んでいる理由が全く分かりません。賃貸物件の場合は事業用物件は、居住用物件に比べて賃料が高く設定されているのが一般的のようです。理由は、事業用物件の方が人の出入りが多く、建物の傷みが早いとみなされたり、事業で収益を得ることを前提としているためです。同様のことがマリーナの場合も当てはまるように思います。ショッピングモールにおけるテナント料は、固定賃料と歩合賃料を組み合わせた方式が一般的です。テナントの売上に応じて賃料が決まる歩合賃料は、売上の10%程度が目安とされています。バース利用に対してのみ利用料金を設けているからというものは現在そうしているという状況説明をしているだけで、別料金を設定しない理由にはなっていません。特に赤字運営という状況では積極的に検討するべきだと思います。
- (1) 独立採算制の導入を方針としているようですが、全国の公共マリーナでは公的支援が一般的です。従来公的支援を継続する方針に戻すべきです。(2) 「令和5年度包括外部監査結果報告書」の「意見4、事業の成果指標が設定されていない」に指摘されているように、事業のPDCAサイクルを適切に運用するための効果指標を設定することが必要です。効果指標としては、「管理経営の健全化」だけでなく、「海洋文化の普及と発展」も加えるべきです。(3) マリーナの今後の方針については、(2)で示された適切な効果指標を設定して、今後のマリーナ改革案を練り直す必要があると思います。(4) 効果指標の「海洋文化の普及と発展」の内容として、海洋文化センター(仮称)のようなものを設立し、沖縄の海洋文化に関する講演会、ヨットやクルーザーや帆かけサバニなどの操船教室や艇の貸し出し制度などを確立して収入を増やす。
- 陸置区画はスペースが無駄に多くとってあり又、各艇間も広くとってある。このスペースを適当にする事で現状の艇数を150%程度に出来るのでは無いかと思う。
- マリーナを業務に使用している船舶は追加で使用料を支払う。
- 空きを待つ人が多いことを人気のパラメーターにはしてはいけない。裏を返せば、利用できないマリーナということになる。駐車場の一部を陸置艇のスペースに変更するとか、募集要項 参考資料1 管理運営業務基準の15ページに示してあるように営業船用バース、ビジター棧橋、一時係留棧橋を厳格に管理することで、明らかに空いているバースの利用を図るとよい。「緊急用に10艇分のバースを確保」している余裕などないはず。これは私が10年前に新規契約した当時の課題で一向に改善が見られない。営業艇が管理棟前の一時係留棧橋を夏場に当然のように使用しているためレジャー客と利用者との動線が交錯しており、これはR4年度のモニタリングシートにも懸念が示されているが、R5年には現状分析・課題の欄が空白のままである。決して事態は好転していないにも関わらず。
- 説明会でも提案があった通り、コンベンション側の駐車場を空きを待っている船舶に貸出で収入をあげる！
- ここ数年はマリンアクティビティ利用の観光客も多数いらっやっています。OCVB など観光関係から支援はいただけないでしょうか。
- ヨットスクールの開催

施設の改善希望（宜野湾港）

考え方(複数回答)	回答
浮棧橋の修繕サイクルをもっと早くする	16
浮棧橋を新しいものに早めに更新する	5
パワーポストを増設する	17
トイレ・シャワーを増やす	23
オーナー専用施設（クラブハウス）を作る	10
大型の船舶に対応するクレーンを増設する	2
給油施設の給油能力を強化する	2
何もしなくてよい	41
その他（具体的に）	16

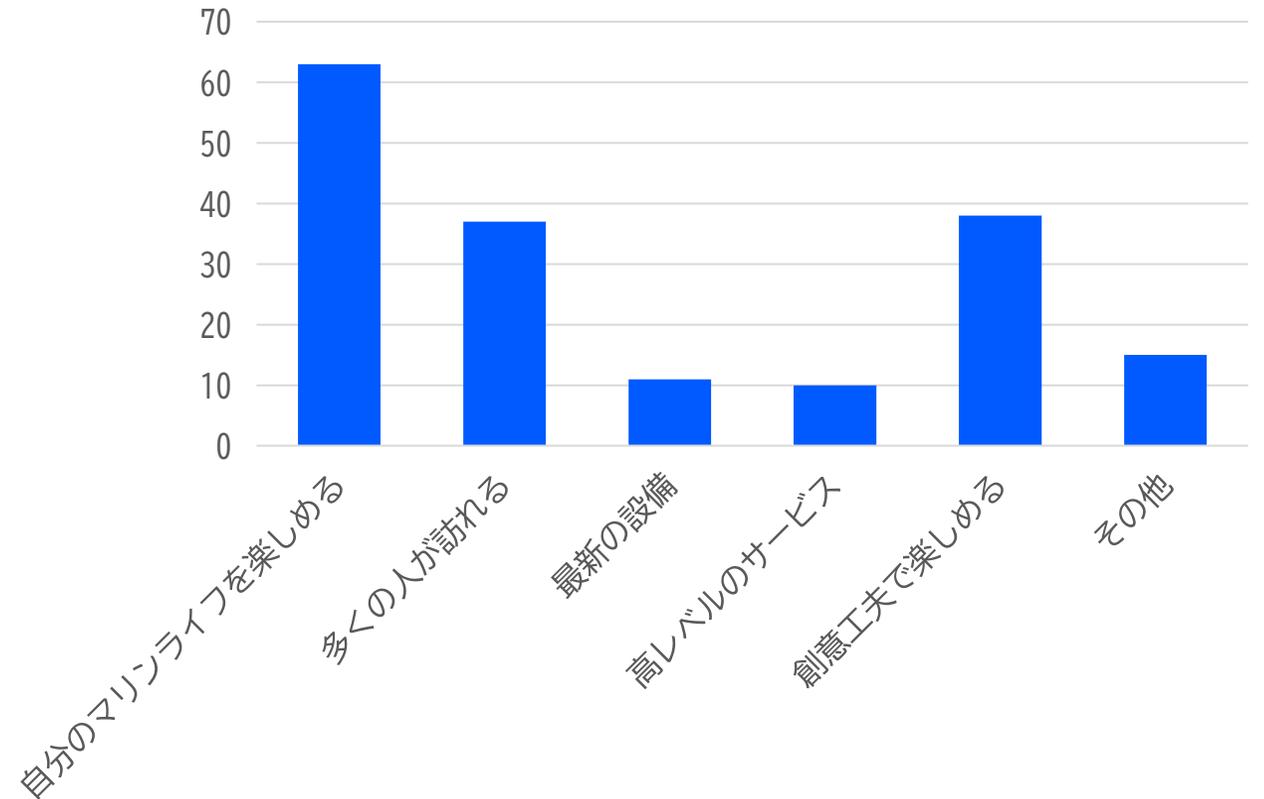


施設の改善希望（その他）（宜野湾港）

- 不要な艇、船台、その他ごみを片付けていただくだけで満足
- 誰でも入れるクラブハウス
- 2-10で、A又はBしか考えられない時点で、行政の能力不足が明らかであり、民間業者のように収益改善のための仕事をする気がないことが分かる。「仮に、現在のマリーナ施設の利便性を向上させるとすれば」との質問は、この回答をもって「利用者の要望も叶える形での法案にしました」との主張に使用される可能性があるので回答が難しい。卑劣なやり方と感じる。
- 海上バースや係留場所を増やす
- 実現可能かは分かりませんが例えば年1も動かしてない船舶には声掛けして県内の県保有の空き地に移動する（年会費をその代わりそちら分として安くする）これだと例えば山の中の比較的安価な土地に置いておけてバースを空けられるので新たに頻繁に利用したい人に貸し出す事もできる。山の中に置いてる船は要相談ですが2週間前程度に船を出したいと連絡もらったら移動してきてビジターバースに停めとくとかして利用してもらってまた使い終わったら移動するなどの方法は有りかと。
- 反社会勢力刺青タトゥーのある人排除
- 揚げ降ろしの頻度を増やす。シャボは15分刻みにする。
- コンベンションセンター側を拡張し浮棧橋を増やす。また、修繕についてはサイクルを早める以前に修繕されていない。アンケートに誤りあり。
- お金を使わないで欲しい。
- 浮棧橋は短いサイクルで点検し、人的被害が発生しない事が利便性向上である。
- 浮棧橋の修繕を必要に応じて適時行う。
- 海洋文化センター（仮称）を設立してヨット、ディンギー、サバニ、帆かけサバニ、などの教室と艇の貸し出しを有料で行う。
- ゴミ捨て場を事務所の営業時間内だけでも解放してほしい
- アクティビティ事業者用に車両が乗り入れ可能な浮き棧橋を整備する。
- 給電設備は必要ないが給水設備の増設
- 車両が乗り入れ可能な浮き棧橋を整備する。または、荷物積み下ろし用のベルトコンベアを整備してほしい。

マリナーの今後（宜野湾港）

考え方(複数回答)	回答
船舶のオーナーたちが自分の求めるマリ ンライフを楽しめるマリナー	63
県内外から多くの人を訪れるマリナー	37
最新の設備が整ったマリナー	11
高いレベルのサービスが受けられるマリ ナー	10
最低限の設備の中で、オーナーが創意工夫 で楽しめるマリナー	38
その他（具体的に）	15



マリーナの今後（その他）（宜野湾港）

- 最先端の設備が整ったマリーナであり、飲食店が立ち並び、観光客でにぎわうマリーナ。
- 最先端の設備が整い、観光スポットとしても人気で観光客でにぎわうマリーナ。
- マリーナのフェンス外と内は別と考えたい。
- 最低とか高いレベルとか記載が極端で問いがナンセンス。標準的に必要な施設を適正価格で利用できる公共マリーナを希望
- 高額な設備(大型クレーンなど)、本当に必要？必要な船は何艇ありますか？私のボートでは不必要です。
- 独立採算制を導入しないで、公的支援を維持して、県内の利用者が増える低価格使用料で楽しめるマリーナ
- 利用料金の軽重について、沖縄県公共マリーナという性格と利用者の経済状態などを考慮して算定すべきです。
- Wi-Fi導入すべき。
- オーナー最優先で外部の人は優先度を低くするべき一番負担しているのだから。
- 県民のマリーナでは
- ビギナーでも安心して利用できるマリーナ
- あれだけ艇が停まっているのに動きがほぼみられない。江ノ島のように賑わって欲しい。
- 沖縄の子供達でもマリン関係や仕事に携わり(ほとんどが内地の業者)もっと海を生かして将来に繋がる観光地として宜野湾マリーナには進んで欲しい。お金がある人だけしか届かないマリーナにはなって欲しくないです。
- 営業目的契約者とその客が一般契約者の邪魔をしない(物理的にも雰囲気としても)

その他ご意見（宜野湾港）①

- 一時バースの業者利用をなくす。
- 1日も早く捨てられた悲しい船を片付けて欲しい。水を自由に使いたい。 スロープの清掃ありがとうございます。週に3回は、利用していましたが他に必要な物はありません。
- 外部の業者が我が物顔で港内を猛スピードでかっぱし引き波を立てている。注意もしない、管理事務所は見てみないふりか？。
- 県民のためのマリナー運営をしてほしい。
- 独立採算制を目指すとのことだと、県が営利事業を行うということである。 沖縄のマリナーは公共性が高く、そのほとんどを県が独占している。県が運営するマリナーを利用する以外の選択肢がない中で、営利事業を行い、その利益確保のために社会通念上あり得ない値上げをするなら独占禁止法に抵触する恐れがあり、集団訴訟に発展する可能性もあるが、理解した上で実施するのか。 民間マリナー開発を後押しせずに県のみが湾岸を管理して独占的にマリナー開発を進め、後年になって使用料を値上げするのであれば司法判断が必要だと考える。 また当然、判決が出るまでは値上げ差し止めの仮処分を申請することになる。 「他のマリナーに移る」という選択肢を持たないオーナーの立場では、「他のマリナーに移るという選択肢を与えてこなかった県」が値上げするということに対して、こうした準備を進めるしか道がないが、このような争いに発展させてまで値上げするのではなく、年2%から3%程度の値上げで話をまとめる必要がある。 昭和56年の最初の計画では、「海洋レジャーの増大に対応して多数の県民が利用できるようにする」「沖縄県の亜熱帯海洋性気候の特性を生かす青少年の健全な育成を図る」というものであったマリナーが、営利事業として成り立つか否かという問題で訴訟に発展させるようなことをするのは回避するべきである。 また、沖縄県民の所得水準から考えて「多数の県民が利用出来る金額ではない」と思われる。 港湾課は、理屈でQ&Aの回答をするだけでなく、「議員やオーナーからの提案されたことを全て実践してその内容の功績の報告」をするべきである。昨年にオーナーから提案されたことを実践せずに、安易な値上げを進めるのは、職務を放棄した怠慢である。「運営に期待すること」は、このような行政の怠慢な運営ではない運営を期待している。 港湾課が値上げを進めるなら訴訟を覚悟し、万一のときの責任から逃れられないと腹をくくる覚悟が必要だが、これに比べれば真っ当な運営は本来やらなくてはならない仕事をするだけなのだから楽だと思われる。
- 海上バースはまだまだ増やせるスペースがあると思いますので、計画を立てて増やして欲しい。 事務所周辺に日陰が欲しい。 レンタル船台を増やして欲しい。
- ただでさえヨットは年齢層が高い方々が多いので、利用料の上昇により若者などの船舶所有や利用機会が減らないことを望みます。
- 県は沖縄の若者が海の魅力に触れる機会作りをもっと大切にしてほしい。 特にSDGsを考えるとヨットを中心に若者達に海を楽しめるアクティビティ機会を増やし宜野湾港マリナーが活気溢れる場所になってほしい。 係留費が極端に上がると費用払えない地元人が多く現れ船を手放し代わりに県外の企業が税金対策に参入してくるに違いない。 宜野湾港マリナーは、宜野湾市の活気作り、海の環境保護意識育成、若者達の活動の場、多層年齢層間の交流の場、沖縄県のマリンアクティビティの中核となり世界に発信する力の可能性を持つ。 今単純にマリナー施設の充実とセットで係留費を上げてても現状の人少ない寂しいマリナーは今後も変わらず活気の無いマリナーで終わる。 近隣のホテルなど巻き込んでヨットやボートを使ったイベントをもっとやりましょう。 また昨今のインバウンド市場としても外国人旅行者にアピールしていただきたい。 体験セーリングなど可能です。 オーナーの中には営業主体とする船主をあまりよく見ていない向きがあるが、マリナーに滅多に来ないでその方々を非難するのは間違っていると思う。 今の宜野湾港マリナーにはとにかく活気が必要である。 やりようはいくらでもある。

その他ご意見（宜野湾港）②

- レスキュー艇の整備。 エンジントラブルで港内に入れなかった。 港入口付近から自分のバースまで曳航してくれるサービスが欲しい。 利用料金について、 諸物価高騰の折値上げはある程度仕方ないと思うが3割程度にして欲しい。 年金暮らしの高齢者も多い。 営業活動をして金儲けの為にマリナーを使用してる者については2、3倍くらいにしてもよい。
- トイレには少なくともウォシュレットと石鹸 手拭きが必要です。 現在では飲み物や食べ物はマリナーに行く前に用意して行くが隣接地にコンビニがあると大変便利だと思う。 ワクワクするオシャレな雰囲気も重要でしょう。
- 宜野湾港マリナーは全国で見てもかなり契約の競争率の高いマリナーで停泊してる船も非常に豪華な船も多くブランドイメージとしては非常に良いイメージがあります。 与那原マリナーもそうですがブランドイメージ低下をするくらいなら少々係留料が上がっても仕方ないかなと思いますし台風の被害などあるので、維持管理は大変かと思えます。 年1も走らせてない船も係留代は頂いてるかとは思いますがそういう方々は近隣の漁港や船溜まり、なんなら山の中の空き地でも相談して移動してでももっと頻繁に利用してくれるオーナーさん達に積極的に使ってもらおうと自然と活気も出るのでは無いでしょうか。 パラセーリングや遊漁船の会社と合同でBBQ付きセット販売してみるのもありかもです。 一緒に同じ船に乗った仲間や船長と食事しながら話を聞いたりするのも楽しいかもです。 私は家が遠いのでアレですがレストラン的な物や売店的な所で飲食、飲酒出来ると嬉しい人も多いかもです。 個人的には飲み物や釣餌、よく使う仕掛け(釣り針や釣り糸)、氷(現在販売中)、軽食(サンドイッチやオニギリ)、釣り具のレンタル、お菓子、酔い止め薬や嘔吐用の袋は売っていると利便性上がります。 ユニオンさんと提携して少しでも手数料貰って販売等だとリスクはほぼ無いのでは。
- 沖縄の目玉マリナー観光事業の牽引役を目指すマリナー。 もっと一般(県内外・インバウンド)利用者を増やす。 沖縄の観光マリンレジャー・観光収入を県は軽んじてはいませんか。 それには当然設備投資が必要です。
- 棧橋の電気料金あげるのならばわかりやすく使用メーターを付けて更に現状100ボルト無いので電化製品が良く壊れるから改善が必要
- 水上バイクは電気使わないので 料金上乘せは反対 電気料金を徴収するのであれば船専用ポスト設置以降にしてほしい それまでは現在と同等の使った時に払う方式で 釣り講習会など船を出す機会増加につながるイベントの開催 燃料増収に繋がります
- 盗難等 警備強化してほしい！ ゴミ置き場の使いがっての良い方法の工夫 (夜に帰って来たときなど時間外が使用しづらい。) マナーの向上！港内デットスローで！引き波を立てないようにキャプテンへの告知など 須磨ヨットハーバーも利用していますが沖縄は少しマナーが悪いと感じます。 よろしくお願いたします
- どうしても利用料をあげるとなった場合でも地価の上昇分ぐらいの価格で止めるべきです。 また、長年料金をあげていなかったのはわかりますが、それに関しては県側に落ち度があるので、仮に来年あげるとなった場合、直近の地価の上昇分を勘案し、決めるべきです。
- これまでとは大幅な変更は望まない。 逗子や葉山のようなセレブなマリナーにはなってほしくない。 サービスは最低限でいいと思うが棧橋の改修など安全対策は必要。 電気水道は適正額で使用者負担が望ましい 例 1日200円など。1時間400円が桁外れに高いので払わない人が多い。 そのかわり自己申告でないきっちり回収する制度。
- 現在の状況は何も期待できません。

その他ご意見（宜野湾港）③

- 事業者と一般オーナーの住み分け トイレ、シャワーの最低限の設備 外国籍船長の教育もしくは、廃止。日本の法律にはしたがうが、ローカルルールは無視するし、ウミンチュとのトラブルを自力で解決できない。持つのはいいが、船長は日本人だったり、と対応させてほしい。今後の受け入れも慎重にしてほしい。
- 設備の修繕がままならない状況の改善は必要だが、設備のグレードアップ(新規投資)は求めている。 まずは県としてのマリーナのあるべき姿(収支面だけでなく定性面)を具体的かつ明確にその根拠も含め示したうえで議論していくことが重要と考える。
- 県内在住者によるマリーナ契約をしてる人に負担にならないように現状のマリーナで！ 1年以上動かないなどの稼働率が悪い船が多くなればマリーナの収入も減ると思うのでその辺も考える余地があると思う！
- 初期の頃と違って 現在不特定多数の観光客などが勝手に自由に入ってくる環境になってる ジェットスキー業者などガラの悪い人達がとても増えた ディンギーヤードサバニ置場でぶつけられサバニが壊されていた事もあった 誰がぶつけたかは分からずじまいだった アイランドボート管理の頃の出来事 それからかなりマナーが悪くなっている 以前の様にマリーナ利用者以外は入れないようにして欲しい
- 以前と比べて停船スペースも狭く、駐車場も遠く、予約も必要など、自由度が低くなりかなり不便になった。 かといってプロペラの盗難も2回程あり、セキュリティも万全ではない。 もっとオーナーの立場になって使い勝手の良いマリーナにしないと発展は無いと思う。
- 高級なマリーナを求めています。いままでどうりで、宜野湾の素晴らしいロケーション、アクセスを活かし市民や観光客が楽しめスポットにしてください。
- もっと船を置けるように空いているスペースを活用し、収益の部分にしても現在のオーナーさん達と密になって沖縄の独自のマリーナ作りをして欲しいです。あと、定期的に運営に関してもなんですが収入をあげていくことに協力していくオーナーさん達がほとんどだと思うので、定例会的な形でイベントを行っていったり、整備の面等やみんなで何でも協力していけるマリーナになって欲しいです。
- 使用目的の違うオーナーさんがいっぱいいるので、一つに話しをまとめるのは大変な作業かと思います。運営側とオーナー側で創意工夫を行う事で色々な収入を生む事が出来れば赤字の手助けになると思います。せっかくの高立地な土地柄だと思いますので、皆様のご協力の元今後に繋いで行ければと思います。今後とも宜しくお願い致します。

その他ご意見（宜野湾港）④

- 単体収支黒字化を前提としているが、公共施設であるため、それは正解ではないと思料。県立の学校は単体収支黒字が前提なのか？ 公園や図書館、美術館はどうなのか？ 県民への一定の福祉の観点があるはずで、マリナーについても公共施設であるため公共施設の位置付けを願いたい。株式会社化し完全営利目的事業体であるなら別だが、あくまで公共施設である。県営住宅、県営学校と同じ県営マリナーであるはず。よって、単体収支黒字ではなく、当然一定の補助金でまかなわれるべき。大学でも学費収入だけでなく、国からの補助金で運営されている。沖縄県人は、「海は見るものでマリネジャーはしない、BBQして酒を飲むとこだ」と多くの県民から聞かすが、沖縄県民にはもっとマリネジャーに親しみを持ってほしい。それを県行政は積極的に行ってほしい。ダイビングする人も県外の人ばかりで県民は滅多にいない。せっかく県営マリナーがあるのだから県民がマリネジャーに親しめる位置付けになるべし。それが海に囲まれた海洋立県の沖縄がとるべき方向性だと考える。あと、アンケート内でマリナー施設に関する設問で、使用料に反映する前提として、修繕サイクルを早めるとか新しくするとかの記載がありましたが、修繕されず放置されている現状を棚上げした設問は遺憾。設問が極端で、そもそも最低や最高を望むものでなく、適切に利用できる施設（栈橋が傾いていない、クリートがぐらついていない、などあたりまえのこと）普通の施設を適正価格で利用したいだけのことです。標準を望む項目がないのが、極めて恣意的に感じられます。要するに、値上抑制なら、何も手を加えない、修繕もままならない。しっかりとした施設にするなら値上げだ、との姿勢がありありと伺えました。宜野湾港マリナーを好きで利用しており、これからも利用継続したいと思っています。よりよいマリナー運営を目指すのは、県行政も私含め他利用者も同じベクトルだと思います。段階的に2年で190%の水準に値上げと言うのは極めて非常識なありかたです。各種物価高騰の折、一定の、10%程度の値上げはあると思いますが、2倍と言うのは、米騒動レベルです。改めて熟考いただきたくお願いします。
- 2-12に記入しましたが、まずは支出を見直すべきだと思います
- 祭りやイベントの際は、一般の方はマリナー敷地侵入禁止にしてほしい。 人が密集し過ぎて危険 トイレが使えない ゴミが散乱
- メンテナンス部品などを在庫していただきたいと思います
- マリナー組合よっての運営
- 船の処分方法、保管場所も含めて上手く行くようにしてほしい。
- お金ばかりではなく、放置してある車、船など撤去しきれいなマリナーになっていたいただきたいです。またマリネ専用のブース？奥の方でやりたい放題やってるように見えます。みんなが一緒に楽しくやってるようには見えません。マリナーが奥のほうの施設も使い、レストランもマリナーが経営していただきたいです。あそこに、管理をお願いしている人だけが、VIPルームがあるとはびっくりです。
- オーナーに納得のいく説明もないまま、県が一方向的に値上げ案を議会に出さないような運営 現在の指定管理者はよくやってくれていると思いますが港湾課が話にならない！このアンケートも議会に値上げ案を出す前にやる事なのではないか？
- 現在、当マリナー利用は県民と県外または国外の人の割合ってどの程度でしょうか？本当に地元の人が減ったと思います。今回のアンケートも県外の方が多ければ、使用料の二重価格反対よりになると思います。県の施設という事を忘れずに改正していただきたいです。大きな(高額)ボート所有されている富裕層の方の為の大きなクレーンはいりません。それを設置したが為に必要としない私たちにも費用を負担させるのは納得出来ません。施設管理費用が圧迫するのであれば、なくて良いのでは、利用も一部の船、利用回数も少ないのでは、費用対効果？ 企業であれば設備投資ミスであると思う。ただ、メンテナンスの為や避難の為設備と聞きましたので必要なら使用する料金を上げて下さい。 板挟みで大変だと思いますが、適切な改正頑張ってください。宜しくお願いします。

その他ご意見（宜野湾港）⑤

- 先に意見したように陸上バースを増やして収入を得てできるだけ値上げ幅を小さくしてほしいです。
- 安易な料金アップは望みません。
- スタッフ数の妥当性検証、ありたい。
- オーナーの私達に比較的使用頻度の少ない駐車場を貸して欲しい、利益を計上して一般会計からの繰入れを少なくします。
- 値上げをしないでこの先も長くヨット生活が出来るようにお願いします。
- 県同様、指定管理業者は以前の業者同様、オーナーの意見も聞かず勝手な値上げ・勝手な運営改正その他諸々、指定管理者も近々オーナーとの意見交換会を開催する必要があります。
- 給水 給電が特定の船に独占されていて平等に使う事が出来ない。 給電は係留開始から現在迄使った事がない。料金改定時に改善を希望する。
- 沖縄は海に囲まれた島。 県民が誰でもボードが持てる環境であってほしいです。多くの県民が出入りして賑わうマリナーであってほしい 他県でマリナーは老人会と呼ばれている所もあるとか。一部のお金持ちだけが出入りできるそんな施設にならない事を願ってます
- 整備業者が使っているスペースを半分にして契約バースにする
- 県民のための施設であるということを尊重すること
- マリナー入り口、入出港時の目印となるベビーブイは当初、赤、緑合わせ6～8個設置が有りましたが、台風等により現在は緑が1個だけで、夜間の入出港時はかなり危険。赤のベビーブイも5月の連休明けには設置予定と案内は有りましたが未だ設置は有りません。マリナー入り口周辺は浅瀬、岩礁が多くコースから少し外れただけで、座礁の可能性が高くかなり危険な状態です。時化している時に事故が起きると生命の危険が高く、ブイの増設も併せて早急な対応を要望します。事故が起きた場合、管理責任者である沖縄県の責任は重大です。
- プライベートオーナーとビジネスオーナーを棲み分けし、マリナーの収入に貢献するはずであるビジネスオーナー向けの運営を期待する。
- 係留の空き待ちが多いので、係留バースを増設し、マリナーの収入を増やし、係留費の値上げを極力おさえていただきたい。初期投資は大きいですが、長期的には改善効果が見込まれると考えられます。値上げの必要性は理解出来ますが、値上げ幅は30%以内にしてほしいです。
- 営利目的で利用している利用者・最新設備と高レベルのサービスを求める利用者・最低限の設備を求める利用者で別料金・別サービスの検討をぜひ行って下さい。 県議会でのやり取りを聞いていると、マリナーに船を係留して生活している人がいることを県港湾課は把握されていないようです。マリナー内の船で数週間・数か月単位で生活すること自体は悪いことではないし、別のマリナーにもいると思いますが、生活する場合はエアコン・冷蔵冷凍庫を利用している場合が多いと思います。そのような利用をしている人は相応の電気・水道料金を支払う必要があると思います。マリナーで生活せずに係留している人は電気はほとんど利用しないはずで、一律料金設定はおかしいです。利用者が意見表明できる場を設けていただいていることには感謝しております。

その他ご意見（宜野湾港）⑥

- 現在の指定管理になって、すごくやりやすくなっています。現状維持で良いです。
- (1) 全国の公共マリナーで一般的である公的支援を維持して、独立採算性を導入せずに低価格の使用料を維持する。そして、県民の多くの方々が利用できるようなマリナーを目指すこと。(2) 海洋文化センター(仮称)のようなものを設立し、海洋文化の普及に努めること。具体的には、沖縄の海洋文化に関する定期講演会、ヨットやクルーザーや帆かけサバニなどの操船教室や艇の貸し出し制度などを確立すること。
- 電気、水道は、新規個々のメーター設置で、公平な徴収が良い。
- 今までの説明会などで県から出された資料によると、マリナー運営費用はマリナーの収入で賄われており、県一般予算からの補填は借入金返済部分である事が確認できます。この借入金はマリナー建設費、施設費、補修費と思われませんが、これらは県の資産であり、県営マリナーとしては県予算からの出資は当然有るものと思います。ましてや、マリナー収入の黒字部分は、借入金返済部分に入っており、我々からの収入が、県資産の保全に使われている事になります。これは問題だと思うのですが！マリナー使用料の相場観というお話ですが、例に出され東京夢の島マリナー 西宮市の新西宮ヨットハーバーは、公営マリナーではなく、日本で最も高額に近い料金です。その代わりに、クラブハウス、レストラン、トイレシャワー等充実しており首都圏及び関西圏のマリナーの料金です。九州以西の公営マリナーの料金ですが、福岡市市民ヨットハーバーは与那原マリナーと同程度 大分県 ムサシヨットハーバー はかなりの低料金。与那原マリナーの相場観としては、やや高めと思っています。沖縄の公営マリナーの在り方について以下の意見がありました。是非 ご参考に！ 沖縄タイムズ 「論壇」2025/6/24 宜野湾港マリナー 公的支援の継続が必要
- 持ち主が不明な船舶や料金を支払わないオーナーの船舶を空きスペースへ移動させて新規オーナーのバースを確保する。
- マリナー内で事業をされる方は収益を上げるのが目的なのは理解出来るがルールは守って欲しい
- 6月5日の説明会配布資料のP7「使用料金収入内訳(R3~R5平均)の全ての収入項目について、令和4年度、令和年度のモニタリングシートの「財務状況の確認・評価」欄から三か年の平均を計算すると収入額が一致しない。四捨五入による誤差ではない。不明な算出結果を資料として提示するのはいかなるものか。また、支出項目の「人件費」は指定管理業務からの支出と自主事業の人件費を合算したものであるが、マリナー利用者から徴収した利用料金を県に収納したのち、指定管理業務を行うために支払われた指定管理費からの支出と自主事業による人件費を合算して表示することに何の意味があるか不明。さらに、「その他(光熱水費)」48,228千円は、「旅費」「需用費」「役務費」「使用料および賃借料」「備品購入費」「修繕費」「その他(租税公課費)」の総計額であり、光熱水費は「需用費(消耗品費、燃料費、印刷・製本費、雑費)」の中に含まれている。指定管理業務の「需用費」は17,920千円で、48,228千円の37%で、光熱水費はそのうちの一部に過ぎない。あたかも光熱水費が大半を占めていることを印象付けるような提示方法は情報操作であると思われる。次からの数値を提示する場合やめていただきたい。給水施設等の使用料の名称を「付帯施設使用料」と変更して、施設を使ったらその使用の有無に関係なく一定額の支払い義務を負うとするもので、さらに使用量に応じて料金が加算されるとなると極めて大きな負担となる。1月に提示された10%の使用料はR5年度の係留等の利用収入が124,626千円であるから12,463千円、1.6倍に係留料量が上げられたとして、19,940千円となる。この額は、指定管理業務の需用費を超える額となる。このようになることを見通して10%の設定をしているとしたら、意図的で利用者の実態を全く考慮していない手言わざるを得ない。設定に根拠を明示していただきたい。
- 本土のオーナーさんも居ると思いますが、みんな県民と仲良くしてほしいです。一部の人が敵しして事務所にクレームを入れる 公共施設なんでみんな仲良くしたい！本土のクルーザーオーナーがデンギーに対して邪魔って言うのを見たことがあります！みんな海好きが集まる場所なので、大人の25対応してほしい。

その他ご意見（宜野湾港）⑦

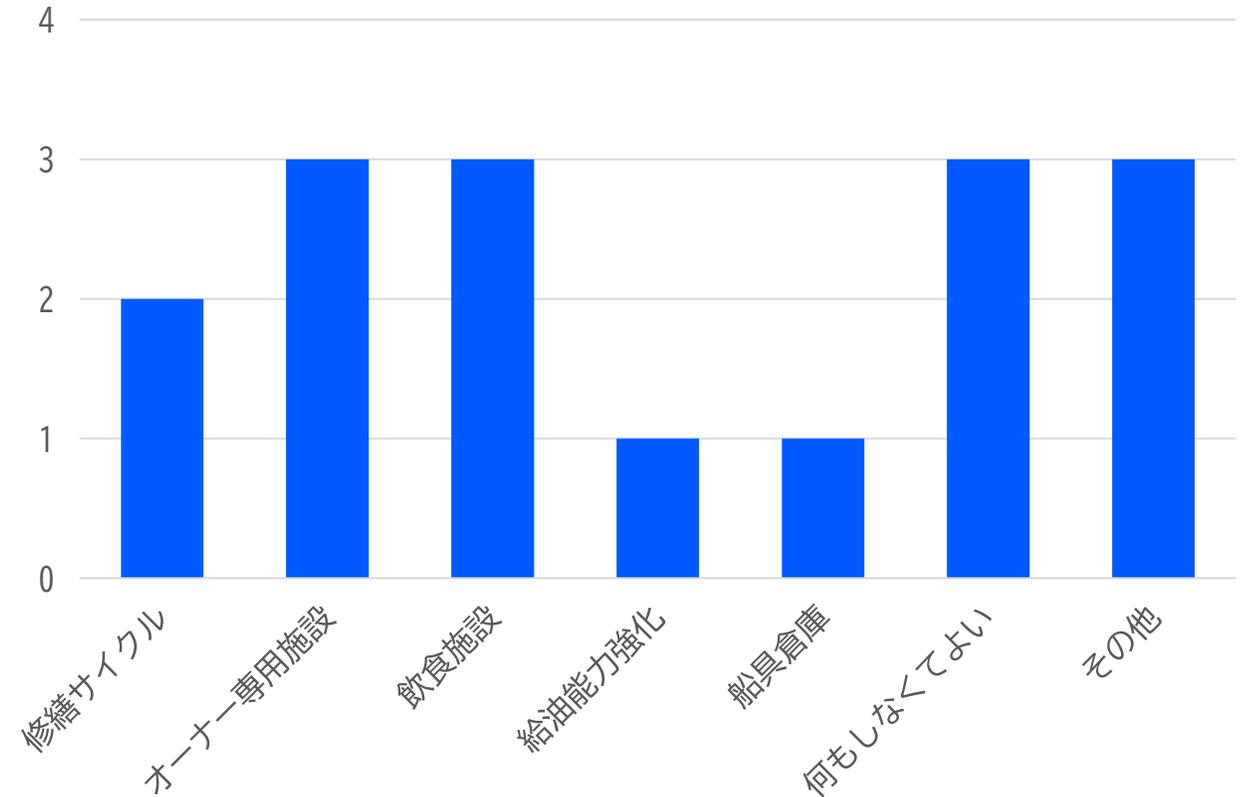
- ヨットが好きでマリーナを利用させていただいています。船には家電品などは無いのでパワーポストを利用したことはありません。設備の修理、改修等は行って行く必要はありますが船を安全に係留できるポンツーンがあるだけでもありがたいと思っています。説明会では日本を代表する様なマリーナを引き合いに出されるなど高級リゾートを目指している印象を受けました。実際充実した設備を希望されるオーナーさんもうらっしゃいと思います。可能なのか分かりませんが、設備の充実したポンツーンとそうではないものを作る。また、ゴールド会員と一般会員を設けクラブハウスなどを利用したい方にはその分を負担いただける様な仕組みは取れるでしょうか。
- 宜野湾マリーナは海邦国体の開催に伴い、青少年、一般のマリンスポーツの振興を目的に造成された。沖縄県はこの当初の目的を忘れてはいないだろうか？ 今回の値上げ案がもしも採択されたなら、納税者である沖縄県民は、青い海を目の前にしながら、舟艇の撤去に追われ、代わりに他県からの富裕層の流入を招く結果となり、宜野湾マリーナは他県富裕層の避寒地ならびに船置き場と化すであろう。これまでのマリーナの放漫経営による累積赤字を、船主負担に任せて、赤字を解決しようとの試みには断固として反対である。累積赤字の解消には、国県の交付金を充てるべきで、他に本県と他県利用者との間に差別化をはかるのも一案であろう。また、収支を無視したこれまでの放漫経営を防ぐには、毎年の収支決算報告会を県と船主同席の上で開催するよう提案したい。

収入増加の方法(与那原)

- 船舶整備などがある。沖縄だけがメーカーの関係なのかわからないが一般の整備業者があまり積極的に依頼してを受けない。整備のニーズはなかりあるはず。
- まず支出を抑える方法を検討してください、この間の説明会でも先に値上げありきの話が先行していたと思います
- 地域住民が楽しめるエリアを作る。船舶の安全管理の維持
- 今年6月の説明会で指摘があった陸置を増やし収入増を計った後使用料値上げ、しかも急激ではなく5年程度を目安に提案するのが妥当と考えます、民間業者でも提案があった急激な値上げは理解を得られない、ましてや県が民間以上の値上げを提案するのは理解できない
- まず、県の立てた計画が間違えていたことを認めてください。マリーナとしての機能を満たしていないにも関わらず、こんな短期間での保管料見直しなどあり得ません。またウェイティングリストにたくさんの登録があるのだから、増設し収益を向上させれば良いでしょうに。
- 釣り用の有料棧橋 ビジター船の値上げ
- 夏場のイベント誘致。海釣り公園。海の事故を防ぐ為の安全講習会。空きスペースを使ったウォーターパーク

施設の改善希望（与那原）

考え方	回答
浮棧橋の修繕サイクルをもっと早くする	2
オーナー専用施設（クラブハウス）を作る	3
レストランなどの飲食施設を作る	3
給油施設の給油能力を強化する	1
船具倉庫（コンテナ）を整備する	1
何もしなくてよい	3
その他（具体的に）	4

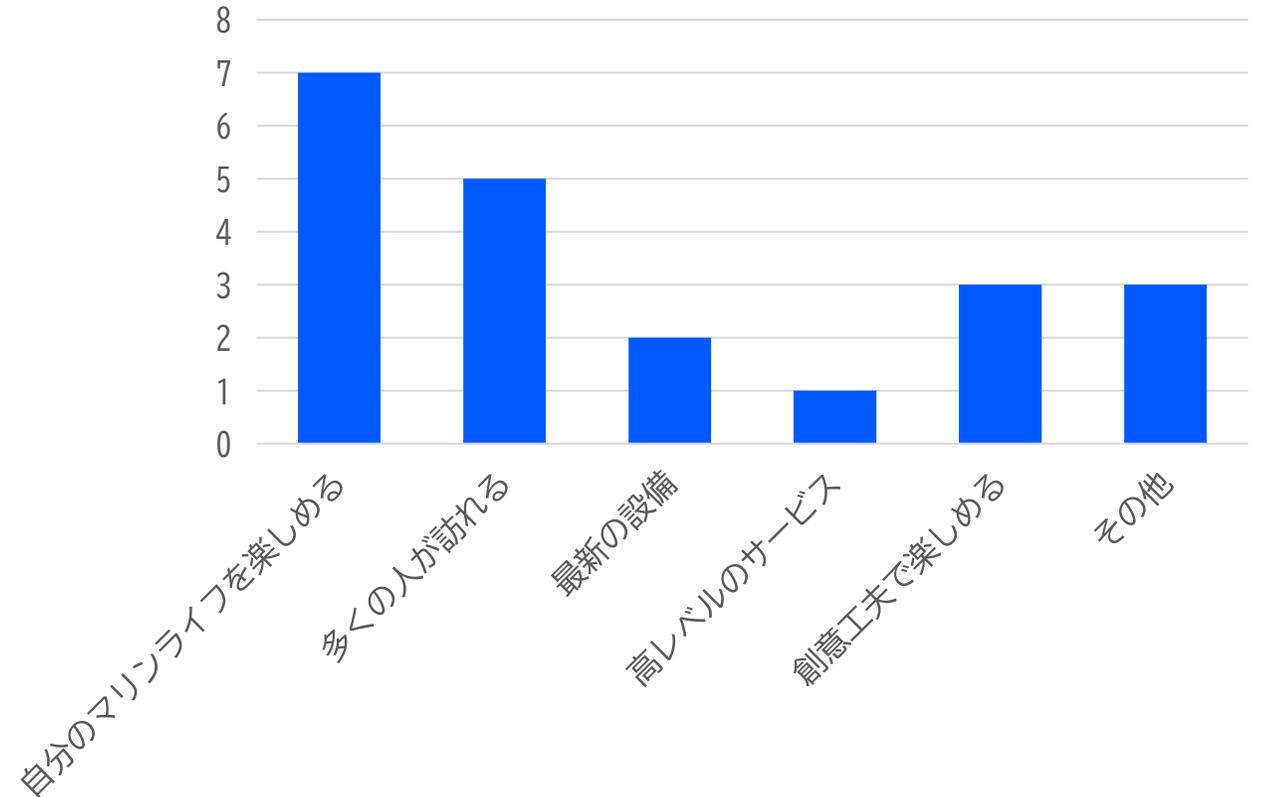


施設の改善希望（その他）（与那原）

- 浮棧橋を新設して収入を増やす
- 防犯強化
- 護岸天端高が低く、台風時に電気設備が水没する。マリーナの基本的な機能をまず整備してほしい。
- 広い敷地なので格安で一般開放し家族連れが海を見ながらピクニックが出来る場所や簡易的な魚釣り施設を作りマリーナの収益に繋がたらと思う。

マリナーの今後（与那原）

考え方	回答
船舶のオーナーたちが自分の求めるマリ ンライフを楽しめるマリナー	7
県内外から多くの人を訪れるマリナー	5
最新の設備が整ったマリナー	2
高いレベルのサービスが受けられるマリ ナー	1
最低限の設備の中で、オーナーが創意工夫 で楽しめるマリナー	3
その他（具体的に）	3



マリーナの今後（その他）（与那原）

- 停泊中の船内で、ビーチパーティーができるように
- 公共マリーナゆえ、一般の方々にボートやヨットを普及する機能を持つべきで、これにより沖縄の魅力を向上させていきたい。
- 宜野湾とは周りの環境が違いマイナーなマリーナです。観光客を当てにするにもインフラ整備が必要です。

その他ご意見（与那原）

- 公共性の場所なので一般開放してあげてほしい。（入場料）徴収
- まず、宜野湾マリーナではなく、与那原マリーナの誤植ですよ？ 与那原マリーナに関しては護岸高やパイル高など、台風対策を万全にしてほしい。ビジターバースを充実させ、県外、国外からの寄港を増加させたい。この場合、港内への進入路が分かりにくいので、消波ブロックに色をつけるなど、初入港の船舶にもわかりやすい安全対策を施してほしい。与那原マリーナは単年の収支は取れています。決して安価ではない保管料です。県のミスを利用者が補填するような値上げを前提とした説明は不愉快です。公共サービスのあり方を再検討し、県、管理者、オーナー、地域利用者すべてが納得し、発展が期待できる施設を目指してほしいと思います。
- 現在の指定管理会社は入札で決まったと承知している。1年経過したら値上げを要求するので有れば、改めて入札をやり直すべきではないでしょうか？このアンケートを参考に、新規管理会社には事業計画のプレゼンテーションをさせて公開入札をすべき提案します。